

令和4年度 動物愛護図画コンクール講評

動物愛護コンクールへ入賞された皆様、おめでとうございます。本コンクールは、家庭で飼っている動物または身近にいる動物を主題とした作品をテーマとして、動物の図画を通して、身近な動物に思いをよせ、生命尊重や友愛および情操の涵養を図ることを目的としています。また、コロナウィルス感染症拡大防止の中ではありましたが、828点もの作品応募があり大変うれしく思います。

幼児から児童までの発達段階に応じた、のびのびとした描画と思いにより添いながら審査員一同審査を行いました。幼児・児童の感動した思いが作品を通して観ている私たちにも同じ情景が伝わり、作品を審査する時間が私たちにも大切な時間となりました。その様子は、どの審査員もマスク越しでしたが口元が緩んでいるように見えました。

今回、受賞した知事賞の講評を紹介いたします。県知事賞を受賞した「ひいおばあちゃんとねこのチビは仲良し」は、ひいおばあちゃんを囲んで兄弟でおばあちゃん長生きにしてね。という思いを猫のチビお願いしているようで、描かれている人物もみんなにこやかに心温まる様子が伺えます。

動物とのふれあいを通して、幼児・児童の心の中に、動物たちと思いを共有する世界があるとあることに再認識させられました。その世界は、思いを寄せるだけでどんどん広がっていきます。

これからも動物たちとのふれあいを通して、私たちの目的（ねがい）がたくさん幼児・児童に育まれることを期待いたします。

南城市立玉城小学校 校長 大城直也